

一般講演・口頭発表 O-12

## 神戸山手×須磨海浜水族園×相樂園 イシガメプロジェクト

中谷卓司・井上彩音・大内友梨香・畑 梨香・北川舞依（神戸山手女子高等学校）

Conservation activities for Japanese pond turtle by Kobe Yamate Girls' High School in "Sorakuen"  
with Kobe-Suma Aquarium

Takuji NAKATANI, Ayaka INOUE, Yurika OUCHI, Rika HATA, Mai KITAGAWA (Kobe Yamate Girls'  
High School)

本校が「ニホンイシガメ」保全に取り組み始めたきっかけは、神戸市立須磨海浜水族園(以下、須磨水)の淡水ガメ調査に2010年から協力し始めたことである。神戸市中央区の相樂園の池・猩々池、北区の修法ヶ原池・森林植物園の長谷池で、網を使った捕獲調査を行った。その結果、合計42匹(クサガメ27匹、ミシシippアカミガメ12匹、スッポン1匹、カミツキガメ1匹、ニホンイシガメ1匹)を捕獲した。

日本固有種であるニホンイシガメが神戸市中央区近辺でほとんど生存していないこの現状を、須磨水の亀崎園長と話すなかで、「イシガメを相樂園の池に放流して調査する」ことを提案され、このプロジェクトを立ち上げ、取り組む事になった。

神戸市立相樂園は神戸市中央区の兵庫県庁北側に位置し、元神戸市長 小寺謙吉氏の先代小寺泰次郎氏の本邸に営まれた庭園で、明治18年頃から築造に着手され、明治末期に完成したものである。昭和16年以降神戸市の所有となって「相樂園」と名付けられ、一般に公開されるようになり、平成18年1月26日に国の登録記念物(名勝地)に登録された。敷地面積は19,566㎡で、その中に9,500㎡の池泉回遊式日本庭園があり、中央に面積1,303㎡の池がある。

この池に、もともと園内で捕獲したイシガメ・メス1匹に加え、兵庫県内で捕獲された22匹を須磨水に提供して頂き、2012年9月に放流した。各個体にはマイクロチップを埋め込み、また甲羅にナンバリングしており、個体識別できるようにしている。不定期に月1～2回程度、罾を仕掛け再捕獲し、背甲長、背甲幅長、腹甲長、体重を測定している。春から秋にかけては甲羅干し(図1)やミゾカクシの食餌風景などが、冬は池の水の透明度が増すのでオスがメスを追いかける繁殖行動と思われる行動が観察できている。また2014年2月までに3匹死亡している一方、2013年8月と9月に、園で繁殖したと思われる幼体3匹を捕獲した。

今後、イシガメ各個体の測定結果の変化や行動と水温との関係などデータを蓄積し、また産卵場所の特定とその行動の追跡を試みたい。

サンクチュアリを提供して頂いている神戸市立相樂園と、ご指導ご協力頂いている神戸市立須磨海浜水族園の皆様には感謝申し上げます。



図1. 神戸市立相樂園内の池で甲羅干しするニホンイシガメ